

コース名		科目名		対象学年			
臨床医学		運動器系		3			
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		三谷 茂		難波 良文, 野田 知之			
目的							
<p>” Life is motion” アリストテレス（古代ギリシャの哲学者）            身体を動かすことは、ヒトの生命、生活、人生そのものであり、自己表現の基本である。人は運動器を介する身体活動によって、自己の存在を証明し、尊厳を保持している。運動器障害により低下した QOL を改善し、悪化を予防することを主たる職務とする診療科が整形外科であり、これを研究する学問分野が整形外科学である。</p> <p>整形外科学について教育する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器の役割は体幹や四肢の機能を健全に保ち、生活の質（QOL : quality of life）を維持することである。この役割がどのように達成されているかについては、運動器の機能と運動器を障害する多様な疾患について理解することが必要となる。</li> <li>2. 医学知識と医療技術の習得は DP3 番と 4 番であり、これらを達成するために、高度な医療・医学を理解することが本科目の目的である。</li> <li>3. 臨床の現場では、運動器障害により低下した QOL を改善することで、患者の生活がどのように変化するのを感じるができる重要な科目である。</li> </ol>							
授業到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構造と機能               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 骨・軟骨・関節・靭帯・筋肉・末梢神経の構造と機能を説明できる。</li> <li>(2) 四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を説明できる。</li> <li>(3) 椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。</li> <li>(4) 四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。</li> <li>(5) 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。</li> </ol> </li> <li>2. 診断と検査の基本               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 徒手検査（関節可動域検査、徒手筋力検査）と知覚検査を説明できる。</li> <li>(2) 筋骨格系画像診断法（エックス線、CT、MRI、脊髄・関節造影、骨塩定量、骨シンチグラフィ）の適応を概説できる。</li> </ol> </li> <li>3. 症候               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 関節痛・関節腫脹の原因と病態生理、診断の要点を説明できる。</li> <li>(2) 腰背部痛の原因を列挙し、診断の要点を説明できる。</li> </ol> </li> <li>4. 疾患               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 骨折の分類（単純と複雑）、症候、診断、治療と合併症を説明できる。</li> <li>(2) 四肢の基本的固定法を説明できる。</li> <li>(3) コンパートメント症候群を概説できる。</li> <li>(4) 関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。</li> <li>(5) 骨粗鬆症の原因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。</li> <li>(6) 変形性関節症を列挙し、症候と治療を説明できる。</li> <li>(7) 絞扼性神経障害を列挙し、その症候を説明できる。</li> <li>(8) 頸椎症性脊髄症（脊柱靭帯骨化症を含む）の神経症候を説明できる。</li> <li>(9) 腰椎椎間板ヘルニアの診断と治療を説明できる。</li> <li>(10) 骨肉腫とユーイング肉腫の診断と治療を説明できる。</li> <li>(11) 転移性脊椎腫瘍の好発部位と診断を説明できる。</li> </ol> </li> <li>5. 病理学               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 骨・軟骨・関節の構成細胞や組織構造を説明できる。</li> <li>(2) 骨・軟骨・関節の主な退行性病変の組織変化と病態を説明できる。</li> <li>(3) 骨・軟骨・関節の主な感染病変の組織像と病態を説明できる。</li> <li>(4) 骨・軟骨・関節の主な腫瘍様病変や腫瘍性病変の組織像と病態を説明できる。</li> <li>(5) 軟部組織の主な腫瘍様病変と腫瘍性病変の組織像と病態を説明できる。</li> </ol> </li> </ol>							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	9/ 3	火	1	講義	三谷	脊椎・関節	整形外科基礎科学（骨の構造・病態生理）
2	9/ 3	火	2	講義	三谷	脊椎・関節	整形外科基礎科学（骨・軟骨の修復と再生）
3	9/ 5	木	5	講義	河本豊	脊椎・関節	骨・関節の感染症
4	9/ 5	木	6	講義	長谷川健	脊椎・関節	整形外科基礎科学（筋・神経の構造・生理）
5	9/10	火	5	講義	遠藤裕	脊椎・関節	整形外科診断学

6	9/10	火	6	講義	河本豊	脊椎・関節	整形外科治療学
7	9/13	金	4	講義	野田知	運動器外傷	外傷総論
8	9/13	金	5	講義	野田知	運動器外傷	骨折・脱臼（各論）上肢
9	9/13	金	6	講義	野田知	運動器外傷	骨折・脱臼（各論）下肢
10	10/ 7	月	1	講義	古市	脊椎・関節	末梢神経損傷、神経疾患、筋疾患
11	10/ 7	月	2	講義	菊岡	脊椎・関節	軟部組織損傷、四肢循環障害と阻血壊死疾患
12	10/ 8	火	5	講義	田中健	スポ・外傷	スポーツ障害、障害者スポーツ
13	10/ 8	火	6	講義	杉本佳	脊椎・関節	整形外科基礎科学（関節の構造・病態生理）
14	10/15	火	1	講義	塩見	病理	骨・関節疾患の病理
15	10/15	火	2	実習	塩見	病理	<実習> 骨・関節疾患の病理
16	10/22	火	5	講義	難波良	脊椎・関節	慢性関節疾患（代謝性、関節リウマチを含む）
17	10/22	火	6	講義	難波良	脊椎・関節	慢性関節疾患（退行性）
18	10/25	金	1	講義	塩見	病理	骨腫瘍の病理
19	10/25	金	2	実習	塩見	病理	<実習> 骨腫瘍の病理
20	10/29	火	5	講義	大成	脊椎・関節	骨・軟部腫瘍
21	10/29	火	6	講義	大成	脊椎・関節	代謝性骨疾患
22	10/31	木	4	講義	牧山公	スポ・外傷	肩関節
23	10/31	木	5	講義	牧山公	スポ・外傷	肘関節
24	11/12	火	3	講義	塩見	病理	軟部腫瘍の病理
25	11/12	火	4	実習	塩見	病理	<実習> 軟部腫瘍の病理
26	11/19	火	5	講義	野田知	運動器外傷	手関節、手指
27	11/19	火	6	講義	遠藤裕	脊椎・関節	股関節
28	11/22	金	5	講義	古市	脊椎・関節	足関節と足趾、代表的骨系統疾患
29	11/22	金	6	講義	田中健	スポ・外傷	膝関節
30	11/27	水	1	講義	中西一	脊椎・関節	脊椎・脊髄損傷
31	11/27	水	2	講義	玉田利	スポ・外傷	頸椎
32	11/27	水	3	講義	玉田利	スポ・外傷	胸郭、胸椎
33	12/ 5	木	6	講義	射場	脊椎・関節	腰椎

評価方法

[期末試験]90%

[出席状況（受講態度）]10%

[評価方法]多肢選択試験

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて
病理実習はレポート提出があり、添削後、返却します。
教科書
ISBN-9784260049368, 標準整形外科学 第15版, 井樋 栄二, 医学書院, 2023/2/3 ISBN-9784524249343, シンプル病理学(改訂第8版), 笹野 公伸(編集), 岡田 保典(編集), 安井 弥(編集), 南江堂, 2020/07/10
参考書
(特になし)
準備学習（予習・復習等）
予習：講義資料により講義内容を確認し、授業前日までに指定教科書の該当部分を30分程度通読しておくこと。 復習：講義後に、当日中に講義内容について配布資料等を用いて1時間程度確認しておくこと。週末にもう一度復習することが望ましい。
講義についての注意事項
講義開始時間を厳守すること。 講義中に質問があれば積極的に発言してください。
昨年度からの変更点・改善項目
(なし)
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
この科目は主としてコンピテンス「医学と関連領域の知識」の中の、運動器の正常な構造と機能の理解、運動器の生理的変化と異常、病態から臨床症状・診断および治療方法について説明できる、ことが達成するように設定されている。同時に、4年次学修科目の症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解することも、達成目標としている。
ナンバリング
DPMU310